

栃木県立宇都宮東中等教育学校設置計画概要

1 新校の基本的枠組み

(1) 第三期県立高等学校再編計画

- ・R9 宇東高及び附属中を中等教育学校へ再編
- ・後期課程に進学に重点を置く単位制を導入

(2) 校名及び命名の趣旨

「栃木県立宇都宮東中等教育学校」

これまでの歴史、伝統及び実績を礎として、さらなる発展を期す。

(3) 開校年月日 令和9(2027)年4月1日

(4) 設置内容

前期課程	1学年の定員：120人
後期課程	1学年の定員：120人 設置学科：普通科（単位制）

2 スクール・ミッション、スクール・ポリシー、教育理念（校訓）

(1) スクール・ミッション

6年間の計画的・継続的な教育活動と幅広い年齢集団による協働的な学びを通して、豊かな人間性を備え、社会の発展に貢献するリーダーを育成する学校

(2) スクール・ポリシー

ア グラデュエーション・ポリシー

- 豊かな人間性と深い教養を身に付け、社会の発展に貢献しようとする姿勢・態度を育成します。
- 科学的な見方や考え方を身に付け、新しい知の創造に貢献できる資質・能力を育成します。
- 未来を切り拓く意志と実践力を身に付け、リーダーとして活躍できる資質・能力を育成します。

イ カリキュラム・ポリシー

- 6年の幅広い異年齢集団での行事をとおして、リーダーシップを発揮できる場を提供します。
- 「授業第一主義」のもと、個々の関心や進路希望に応じた質の高い学習活動を実施します。
- 知的好奇心を喚起し、探究心を養うための体験的な活動を実施します。
- 主体性と協調性をはぐくむ特別活動や部活動を実施します。

ウ アドミッション・ポリシー

- 自ら進んで取り組む姿勢をもつ児童
- 社会に関心を持ち、人との関わりを大切にする児童
- 学習意欲が高く、将来について大きな夢や希望をもつ児童
- 学校行事・生徒会活動・部活動など学校生活に積極的に取り組む児童

(3) 教育理念（校訓）

「 正しく 剛く 寛く 正 剛 寛 」

3 特色ある教育活動

(1) 生徒の進路実現を支える計画的・継続的かつ質の高い学習活動の展開

- ①生徒一人一人の進路実現に向けたきめ細かな学習指導及び進路指導
- ②単位制の導入による生徒の興味・関心や進路希望に応じた選択科目の開設や、数学・英語などにおける少人数授業の充実
- ③高等学校段階の学習内容の一部を前期課程に移行する（いわゆる先取り学習）など、6年間を見通した計画的・継続的な教育課程の編成

(2) 科学的思考を育み新しい知を創造する探究的な学びの充実

- ①スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業や課題解決学習の推進などによる、探究的な学びの更なる深化
- ②大学や研究施設、企業など地域との連携・協働による探究学習や課題研究の高度化
- ③生徒の興味・関心を高める多様な探究講座「自彊講座」等の実施

(3) 国際社会で活躍できる英語力の育成と多文化理解を深める学びの充実

- ①英語の4技能の向上と国際的な視野の育成を図る英語教育プログラムの実施
- ②ICTやAIなどの先進的な学習コンテンツを活用した英語教育の充実
- ③トビタテ留学ジャパンやSSH海外研修など、海外短期留学の充実
- ④英語ディベートや模擬国連など、英語系課外活動の充実

(4) 主体性を伸ばし協働力を培う学びの機会の充実

- ①体育祭や宇東祭など生徒が主体となり運営する学校行事の開催
- ②生徒自らが学校改革を推進する生徒会活動の充実
- ③生徒が主体的に企画運営する講演会や講義等の開催

(5) 豊かな人間性と未来を切り拓く力を育てる多様な学びの充実

- ①他者理解と協調性を育む異年齢集団による学習機会の充実
- ②人権や生命を尊重する意識の涵養を目指した多様な授業や特別講座の実施
- ③自己肯定感やレジリエンスの向上につながる、チャレンジする機会の充実

4 校歌・校章

- ・多くの同窓生及び在校生から愛され、支持されてきた経緯を十分踏まえ、これまでの校歌や校章を継承
- ・校歌は、歌詞中の「東高」を「東校」に変更



校章

5 施設・設備

ホームルーム教室 及び講義室	・必要なホームルーム教室及び少人数授業に対応できる講義室を改修により整備 ・同一学年のホームルーム教室が同一棟及び同一階に並ぶように配置 ・改修の対象となる特別教室の移設を併せて実施
職員室	・職員室内のレイアウト等を変更するための整備を実施